
第2回 日野市介護保険運営協議会
第2回 日野市地域包括支援センター運営協議会
第2回 日野市在宅高齢者療養推進協議会
第2回 日野市地域密着型サービス運営委員会

要 点 録

[日 時] 令和元年8月23日（金）18：30～20：00

[場 所] 日野市役所5階 505会議室

[内 容]

【開会のあいさつ】

≪地域包括支援センター運営協議会≫

【報告】

- （１）平成30年度地域包括支援センターの事業報告について
- （２）地域包括支援センター（すすらん、あさかわ）の事務所移転について

≪在宅高齢者療養推進協議会≫

【報告】

- （３）在宅療養支援事業の取組みについて

≪介護保険運営協議会≫

【議事】

- （４）第4期日野市高齢者福祉総合計画のための基礎調査項目の検討について

≪地域密着型サービス運営委員会≫

【資料】

- ・ 次第
 - ・ 議事録（要旨）：令和年度第1回分
 - ・ 【資料1-①】地域包括支援センター業務種別実績
 - ・ 【資料1-②】地域包括支援センター経常活動収支状況資料（※終了後回収）（★）
 - ・ 【資料2-①】まちの在宅医療相談会 チラシ
 - ・ 【資料2-②】スーパーバイザーの導入について
 - ・ 【資料3-①】ASCOTについて
 - ・ 【資料3-②】ASCOT質問票（★）
 - ・ 【資料3-③】第4期日野市高齢者福祉総合計画基礎調査 調査票（案）について
 - ・ 【資料3-④】第4期高齢者福祉総合計画スケジュール案（令和元年度 基礎調査年度）
 - ・ 第4期高齢者福祉総合計画基礎調査項目意見照会（まとめ）（★）
 - ・ 日野市高齢者福祉総合計画策定のためのアンケート調査（案）（★）
- （★）の資料については、HPには未掲載

[議事要旨]

開会

- ・委員数 17人中 14名出席。半数以上の出席のため会議成立。
(事務局として保険年金課長 出席)
- ・傍聴者：1名
- ・会議の内容について正確を期するため録音をさせていただく。
- ・議事録については要点録として公表させていただく。

《地域包括支援センター運営協議会》

- 1 平成30年度地域包括支援センターの事業報告について（報告）
地域包括支援センター（すずらん、あさかわ）の事務所移転について（報告）
(1) 事務局より説明
(2) 質疑 なし

《在宅高齢者療養推進協議会》

- 2 在宅療養支援事業の取組みについて（報告）
(1) 事務局より説明
(2) 質疑応答
委員：スーパーバイザーの導入について、アンケートはいつ頃に実施し、38名中31名が希望していることを把握したのか。また、どのようなプロセスでスーパーバイザーの導入の検討を進めてきたのか。
事務局：アンケートについては、まず、在宅療養支援課としてどのようなことができるかということについて、平成30年度に地域包括支援センターにアンケートを取った。その中で、専門職が相談できる場所が必要であるという意見が多くあった。このアンケート結果を基に在宅療養支援課内でどのようなメンバーがよいかを検討したが、同課の保健師の恩師にあたる方で全国的にスーパーバイザーをしている方が候補としてあがり、この方をお願いすることとなった。
委員：事例検討会での多職種とはどのような職種があるのか。
事務局：地域包括支援センター職員、市職員、保健所、社会福祉協議会職員。多職種ではあるが地域包括支援センター、市職員が多い傾向ではある。内容によって構成員も若干変わる。
委員：スーパーバイザーについては、全国的に活動されている方がたまたま見つかったということか。
事務局：たまたま職員の知り合いだったことがきっかけにはなっている。大学で教鞭もとられていた方で、ご自身で勉強会を開催するなど、保健師業界では非常に知られている方。
委員：事例検討を通して参加者自身のスキルアップにつながっているということか。
事務局：実際に関わった一つのケースに対して、別の参加者の視点での考え方等を

出し合うことで、また異なるよりよい対応方法も見つかることがある。そのような情報や考え方を共有することで、スキルアップにつながると考えている。

委員：相談会については電話予約のみか。

事務局：他の機関等への相談が適している場合もあるので、まずは電話でお話を聞いたうえで受け付けるようにしている。

《介護保険運営協議会》

3 第4期日野市高齢者福祉総合計画のための基礎調査項目の検討について（議事）

（1）事務局より説明

（2）質疑応答

事務局：要介護の方など、ご自身で記入できない人もいるので、だれが答えたかがわかるようにした方がよいと思う。

委員：ASCOT調査については、日本で他自治体が行った実績があってその自治体との比較ができるものか。また、市で行う調査とASCOT調査については、結果をリンクさせることが大事だと思うが、この結果の検証は国立保健医療科学院がやってくれるのか。

事務局：まだサンプル数は多くないが他自治体での実施実績もあり比較も可能。また、市で行う調査とASCOT調査のリンクも含めて国立保健医療科学院が研究するもの。

委員：ASCOT調査に関する研究計画書等は示されているのか。

事務局：計画書などはないが、概要を示す資料は提供されている。

委員：一般の方には聞きなれない組織かもしれないので、国立保健医療科学院がそのような組織なのかという説明を入れるとよいと思う。

委員：アンケート調査（要支援高齢者）調査票の11ページ（問52）については介護給付の内容のみであるので、地域支援事業（総合事業）の問いも必要ではないかと思う。要支援の人も総合事業を利用する人がいるはず。

事務局：追加も含めて検討する。

委員：（上記、問52について）「1訪問介護」と「6通所介護」については地域支援事業（総合事業）にもあるので、「・・・・（総合事業）」とすればよいのでは。

事務局：ご意見を基に検討する。

委員長：選択肢を増やすかについては①回答者の負担（負担より利益が大きくなる）、②わかりやすさ、③各調査票間の整合性、の3点がクリアできる場合に追加するという考えでどうか。

《全委員》了承

委員：質問にあるサービス名称が回答者にはわかりづらいのではないか。

事務局：前回調査でサービス名称がわかりづらいという意見は特別多かったことはないが、わかりづらいと思われる部分については、わかりやすい表記を考えていく。（注釈をつける等）

- 委員：「意味が分からない」という選択肢も入れることはできるか。回答なしの人の具体的な回答の一つとなりうるのではないか。
- 事務局：検討する。ただし、国の指定する質問項目については、手を加えられないので、その場合はそのままとなる。
- 委員：前回調査の回収率はどの程度だったか。
- 事務局：自立高齢者については回収率64.7%。要支援高齢者については66.4%、要介護高齢者については45%。
- 委員：調査票に制度説明の資料を同封してはどうか。
- 委員：入れるのであれば「ささえあいの介護保険」が内容も多くわかりやすいと思う。
- 委員：ささえあいの介護保険は内容が多すぎるかもしれない。一部抜粋を同封でもよいのではないか。（見開きで6枚程度）
- 事務局：工夫してできる方法を検討する。
- 委員：調査票の発送について、事業所に周知はされるのか。事業所が高齢者から聞かれることが多いので、事前に周知されていると事業所としても対応しやすいと思う。
- 事務局：周知する。
- 委員長：これまでの議論を踏まえて、大きく3点について皆さんの了承をいただきたい。まず一つは、今後の調査票作成に関する意見集約については8月30日（金）午後5時までで意見をいただき、その後については事務局一任とさせてもらいたい。
- 二つ目は今年度の進め方で、事務局の示したスケジュールへの変更について。国の調査項目追加の関係で1ヶ月ほど後ろ倒しになっているため、次回の協議会では調査結果は出せずに進捗状況の報告にとどまる。その後、2月予定の第4回協議会で調査結果の分析、報告書原案までまとめて議論することになる。そのため、第4回協議会の後10日程で意見集約をし、に委員の皆さまからの意見を踏まえ、会長による確認を前提に報告書のまとめを事務局に一任していただきたい。
- 三つ目は、基礎調査へのASCOT調査の追加について。基礎調査とASCOT調査が異なるものであり、調査票を別紙にするなど体裁上も別の調査である事がわかるように配慮すること、またASCOT調査が任意である事を明記することで、基礎調査と併せてASCOT調査を実施したい。
- 《全委員》了承

《地域密着型サービス運営委員会》

議題、報告事項、質疑なし。

その他全体を通しての質疑について

なし

《事務連絡》

- ・次回日程について

次回の第3回は11月8日（金）、第4回は2月19日を予定している。